



油だき温水ボイラ

取扱説明書

〈保証書付〉保証書は裏表紙に印刷されています。

HU-G075F HU-G075FF

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みになり正しく使用してください。
まちがった取扱いは思わぬ事故や故障の原因となります。
お読みになった後も、取扱説明書・保証書は、工事説明書と共に必ず保管してください。



もくじ

1	特に注意していただきたいこと (安全のために必ずお守りください).....	ページ 1~4
2	各部の名称 ■ 外観図..... ■ 構造図..... ■ リモコン.....	5 6 7~8
3	使用前の準備 ■ 燃料..... ■ 給油..... ■ 運転開始前の準備と確認.....	9 9 9~10
4	使用方法 ● 使用方法..... ● リモコンの便利な機能..... ■ 凍結予防..... ■ 使用上の注意..... ■ 長期間使用しないとき.....	11~14 15 16 16 16
5	安全装置.....	17
6	その他の装置.....	18
7	日常の点検・手入れ.....	19~21
8	定期点検.....	21
9	設計上の標準使用期間.....	22
10	故障・異常の見分け方と処置方法.....	23~25
11	部品交換のしかた.....	26
12	仕様.....	27
13	アフターサービス.....	28
14	据付け.....	29~30
	■ お客様窓口.....	30
	■ 保証書.....	裏表紙













使用
前
に

使用
方
法

点
検
・
そ
の
他

1 特に注意していただきたいこと(安全のために必ずお守りください)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。					
 注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。					
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。					
本文中で使われる絵表示の意味は次のとおりです。	禁止	絵表示の意味	指示	絵表示の意味	注意	絵表示の意味
		ガソリン厳禁		電源プラグを抜く		感電注意
		接触禁止		必ずおこなう		高温注意
		分解禁止		アース工事実施		一般的な注意
		一般的な禁止				

警告(WARNING)

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



給排気筒トップ閉そく危険

給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。(該当機種:屋内用 HU-G075FF)



給排気筒(管・ホース)はずれ危険

給排気筒(管・ホース)がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。(該当機種:屋内用 HU-G075FF)



給排気筒トップには金網などは付けない

給排気筒トップには、虫よけのための金網などは付けないでください。給排気の妨げになり、異常燃焼を起こし排ガスが室内に漏れる可能性があります。危険です。(該当機種:屋内用 HU-G075FF)



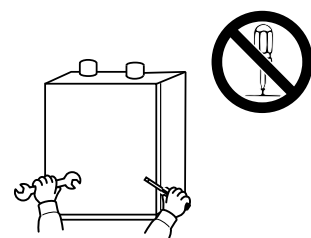
低温やけどに注意

暖房中の床面に長時間、体の同じ部分が触れると、低温やけどをおこすことがあります。特にお子様や体の不自由なかが使用するときは、周囲の人が十分注意してください。



改造・分解禁止

改造・分解して使用しないでください。改造・分解は、機器の安全性を損なうため、火災など思わぬ事故の原因になります。



⚠️ 注意 (CAUTION)

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などふれないでください。
やけどのおそれがあります。



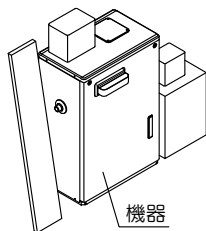
電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、物をのせたりしないでください。
また、電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。



可燃物禁止

機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。
火災のおそれがあります。



電源コードを切断して延長しない

絶対に電源コードを切断して延長しないでください。火災や感電の原因になります。



高温注意

温水口まわりは高温になるので注意してください。
やけどのおそれがあります。



電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。また、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。



異常・故障時使用禁止

油漏れやにおい、すすの発生、エラーを繰り返すなど異常や故障と思われるときは使用しないでください。事故の原因になります。
処置をせずに何度もリセットを繰り返すと、火災や事故の原因になります。「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがって処置してください。



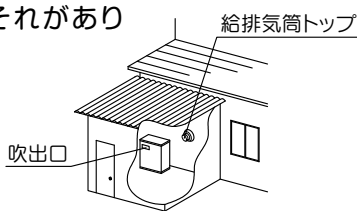
電源プラグのお手入れをする

ときどきはリモコンの運転スイッチを押して「OFF」にしてから電源プラグを抜き、ほこり(および金属物)を除去してください。ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり火災の原因になります。



囲い禁止

機器や吹出口、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。
不完全燃焼や火災のおそれがあります。



アースについて

専用のアース(線)を必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。
アース(線)は、ガス管や水道管、電話や避雷針のアース(線)には絶対に接続しないでください。



長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。



送油経路の油漏れ確認

油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないか確認してください。
火災の原因になります。



積雪時は給気口・吹出口の点検と除雪をする

雪により給気口・吹出口がふさがれると、機器の故障の原因になります。
機器の周囲の除雪をしてください。
(該当機種:屋外用 HU-G075F)



ぬれた手でさわらない

電源プラグをぬれた手でさわらないでください。
感電の原因になります。



動植物に直接排ガスを当てない

動植物に悪影響をおよぼす原因になることがあります。



⚠️ 注意 (CAUTION)

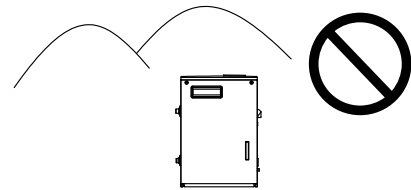
不良灯油使用禁止

灯油は必ず火気・雨水・ゴミ・高温・直射日光をさけて保管してください。
変質灯油（ひと夏持ち越した灯油など）、不純灯油（灯油以外の油・水・ゴミが混入した灯油など）などの不良灯油を使用しないでください。
機器の故障の原因になります。



標高が1,500mを超える高地では使用しない

（空気の濃度が薄い
ため、燃焼に必要な
空気が不足します。）



標高500～1,500mで使用する場合は調整が必要です。
（詳しくは工事説明書をご覧ください）

ゴム製送油管の屋外使用禁止

- **⚠️ 注意** ゴム製送油管を屋外では使用しないでください。
- ゴム製送油管はきつく曲げたり、丸めたりしないようにしてください。
- ゴム製送油管は紫外線にあたるとひび割れを生じて油漏れの原因になります。屋内でもできるだけ日光にあたらない場所を選んでください。



電源プラグを抜いて停止させない

電源プラグを抜いて機器を停止させないでください。火災や故障の原因となります。必ずリモコンの運転スイッチを押して「OFF」にして停止させてください。



ゴム製送油管の点検・交換

ゴム製送油管を少し曲げてひび割れや亀裂があった場合は交換してください。
ゴム製送油管は時間と共に劣化しますので、ひび割れや亀裂がない場合でも2～3年に1度は新しいものに交換されることをおすすめします。
交換しないとひび割れを生じて灯油の漏れにつながり、火災のおそれがあります。



電源コードは束ねたまま使用しない

電源コードは絶対に束ねたまま使用しないでください。火災や発熱の原因になります。

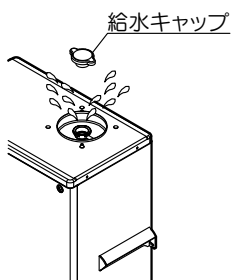


凍結予防

- 循環液が入っていることを確認してください。
- 循環液をご使用にならないことによる熱交換器・配管まわりの凍結・破損については保証いたしません。
- 循環液は、当社指定の純正不凍液を使用してください。3年に1回は必ず交換してください。また、循環液の補充には、専用補充液を使用してください。



運転中や停止直後に給水キャップをはずさない



運転中や停止直後に給水キャップをはずさないでください。循環液が飛び散ってやけどをするおそれがあります。



循環液の保管に注意

- 循環液・専用補充液は幼児の手の届かない所に保管してください。
- 絶対に飲用しないでください。
万一、飲んだ場合には吐かせて、医師の診断を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着したときは、よく水洗いしてください。



安全装置が作動したときは

安全装置が作動したときは、この取扱説明書にしたがって処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。
火災や事故の原因になります。(⇒17ページ)



純正部品以外は使用しない

事故防止のため純正部品以外は使用しないでください。



お願い (NOTICE)

排ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシ・動植物などや、塗装された壁などに当たらないように設置し、増築・改築時も同様に注意する

変色したり、ガラスが割れたり、アルミサッシが腐食することがあります。

リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、ガラスクリーナー、みがき粉などは使用しない

変色や変形、キズがつく場合があります。(⇒20ページ)

リモコンには、水しぶきをかけない、蒸気をあてない

炊飯器、電気ポットに注意してください。
故障の原因になります。

電気器具の近くに設置しない

テレビやラジオなどの近くに設置すると映像の乱れや雑音が入ることがあります。
離して設置してください。

塀などを新たに設置するときは、機器の点検・修理に必要なスペースを確保して、空気がよどまないようにする

塀などと機器との間に十分なスペースがないと、点検・修理の際に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気がよどむと、排ガスが家の中に入ったり、不完全燃焼を起こすおそれがあります。

（機器の修理・点検に必要なスペースについては、工事説明書参照、またはお買いあげの販売店かお客様窓口(⇒22ページ)に確認してください。）

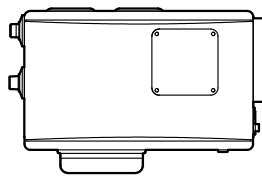
家庭用以外の使用禁止

この機器は家庭用です。家庭用以外に使用しないでください。寿命が短くなったり、故障の原因になります。家庭用以外に使用すると、保証の対象外になります。家庭用の暖房以外の用途に使用しないでください。思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

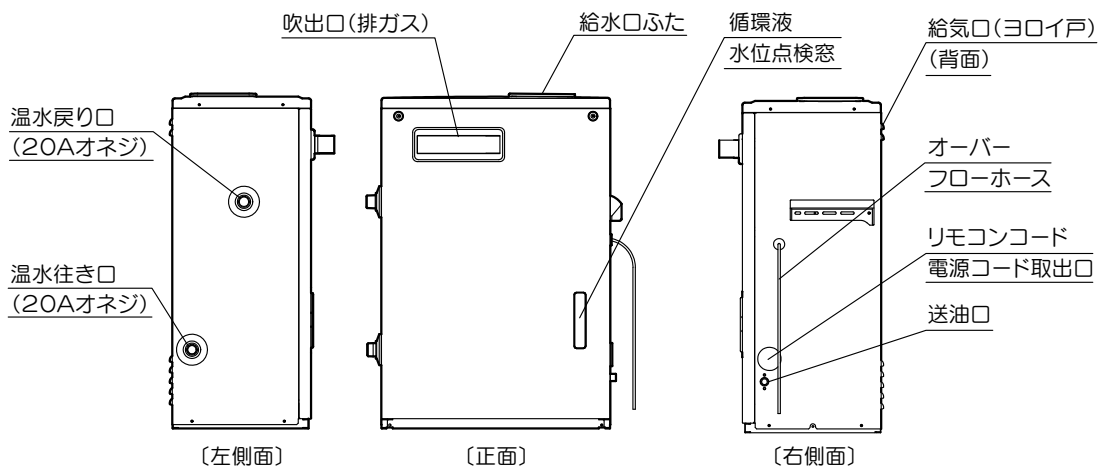
2 各部の名称

外観図

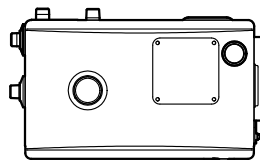
■屋外用開放形 〔HU-G075F〕



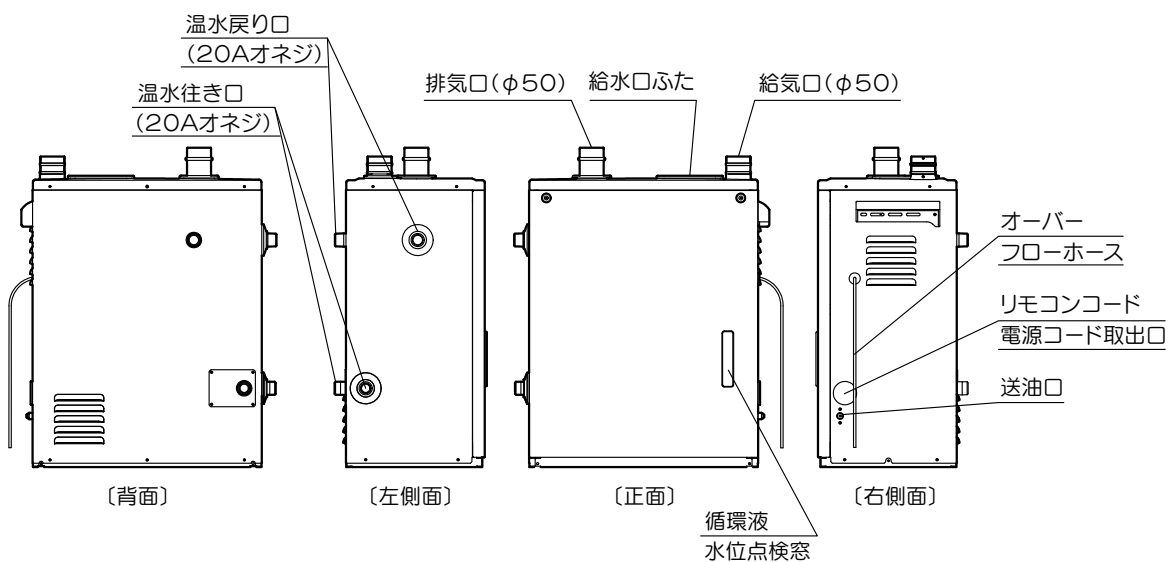
〔平面〕



■屋内用密閉式強制給排気形 〔HU-G075FF〕

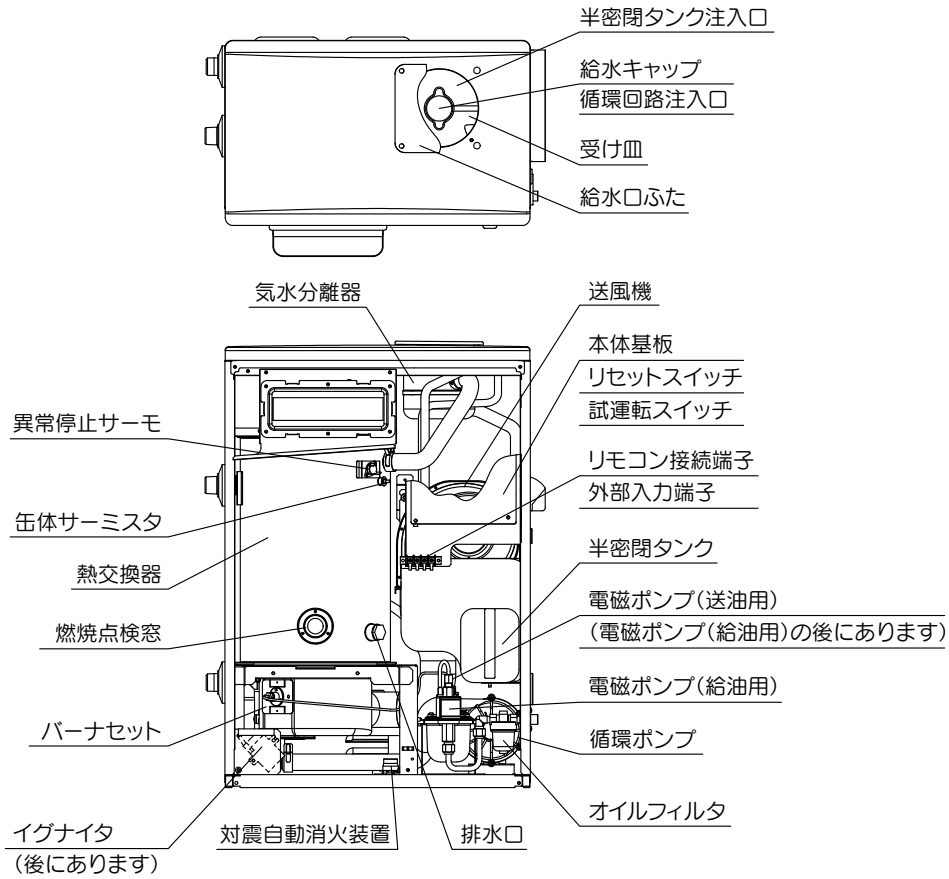


〔平面〕



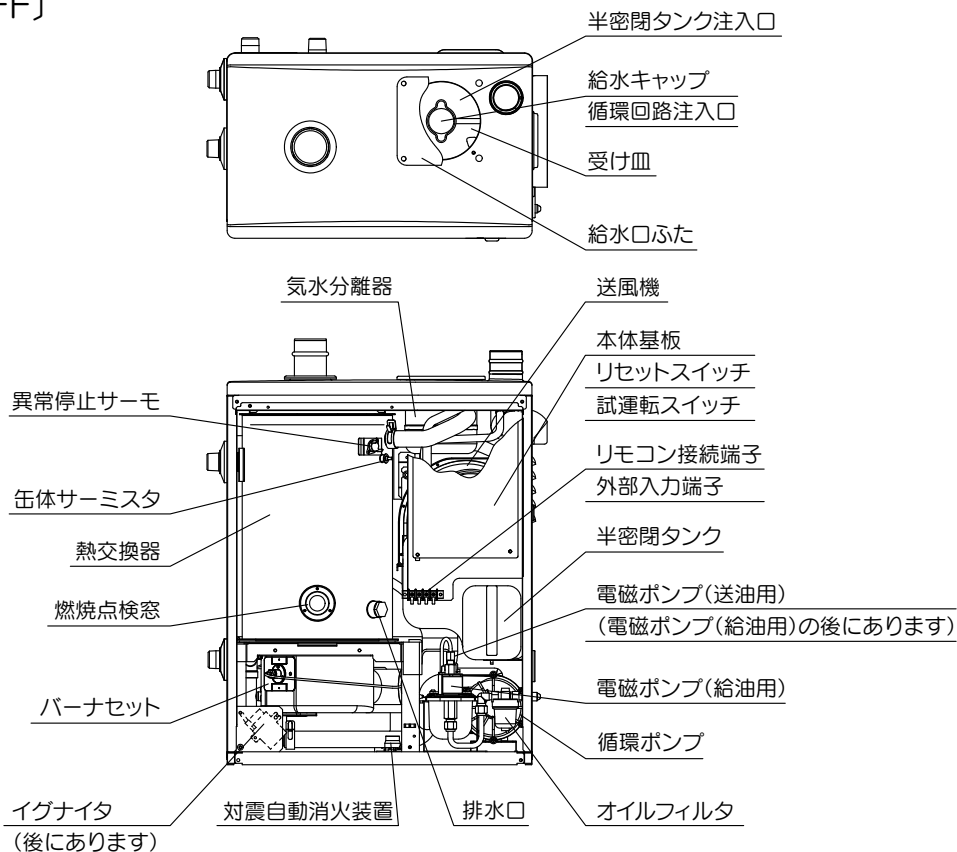
構造図

■屋外用開放形 〔HU-G075F〕



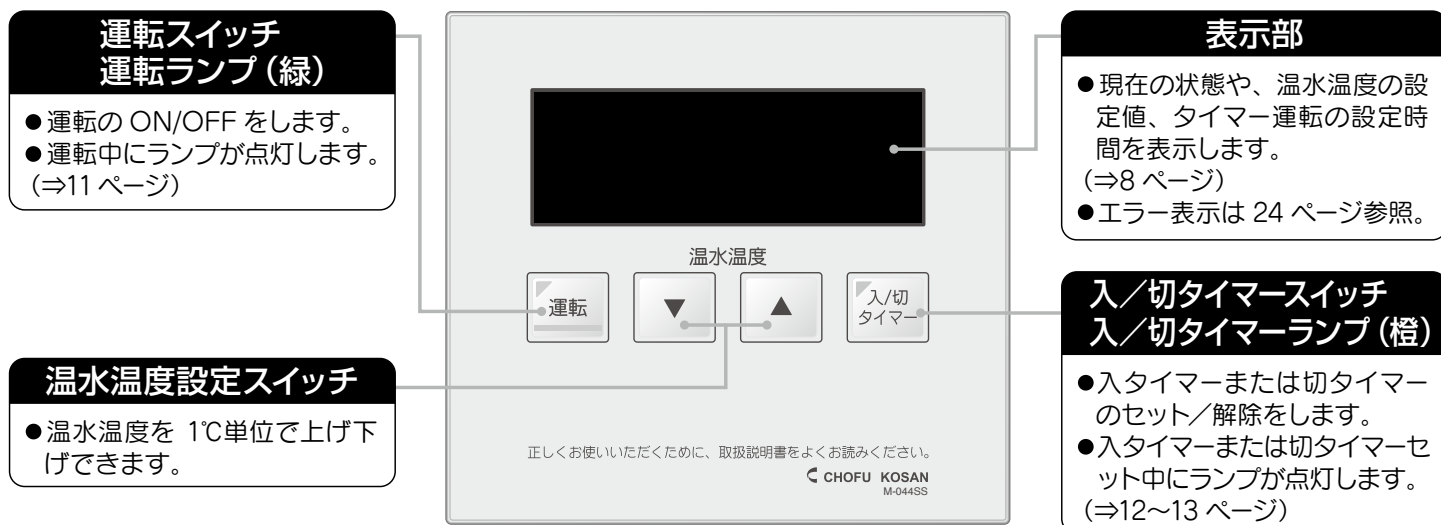
使用前に

■屋内用密閉式強制給排気形 〔HU-G075FF〕



リモコン

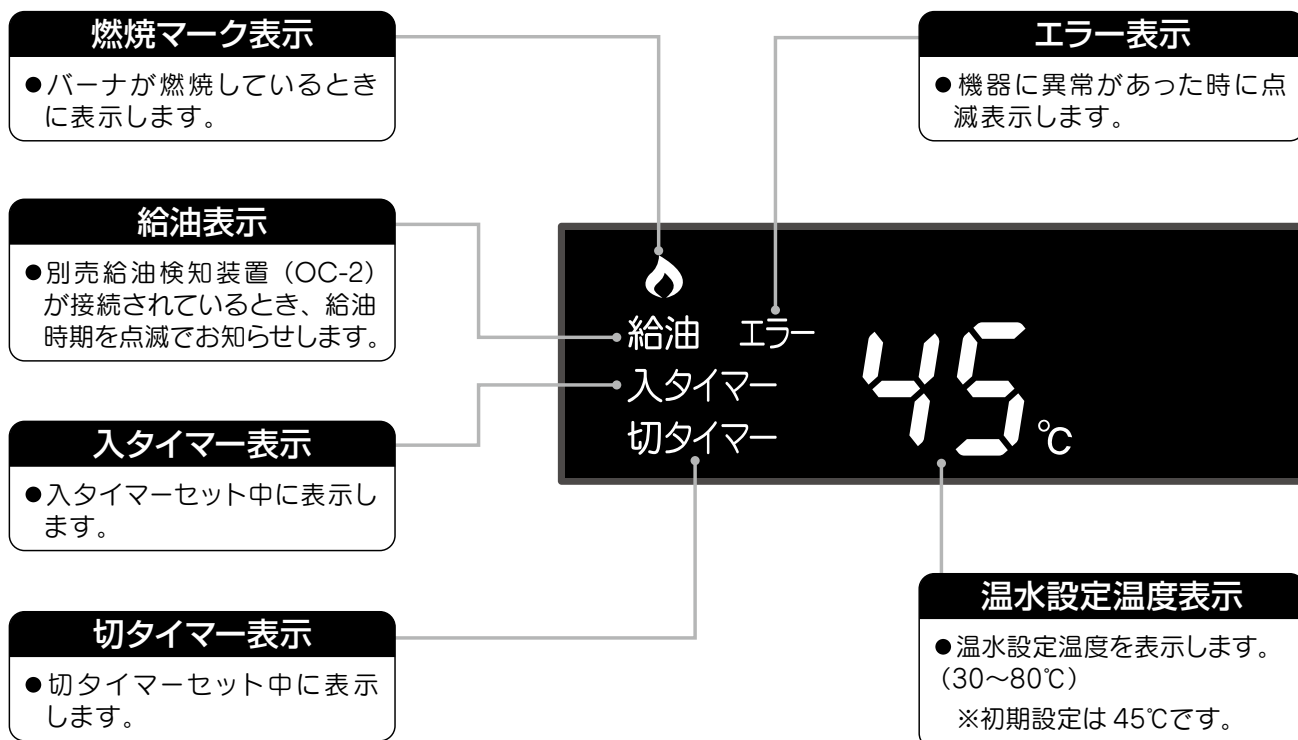
■シンプルリモコン【M-044SS】（使用方法は11～15ページ参照）



リモコン

リモコン表示部

表示部は説明のため全表示してあります。実際の表示は運転時の状況により異なります。



使用前に

表示画面の特性について

- 表示内容などにより明るさにムラが生じる場合があります。

3 使用前の準備

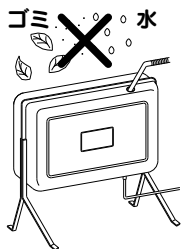
燃 料

- **△警告** ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。
- 燃料は、灯油（JIS 1 号灯油）を必ず使用してください。
- 変質灯油、不純灯油は絶対に使用しないでください。機器の故障の原因になります。

給 油

■給油の際の注意

- 必ず消火を確認してからおこなってください。
- 水、ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水、ゴミなどは燃焼不良や、バーナの寿命低下などの原因になります。



■油タンクの水抜き

- 油タンクに水が混入していた場合は、必ず水抜きをおこなってください。

■給油口ふたは、確実に締めてください。

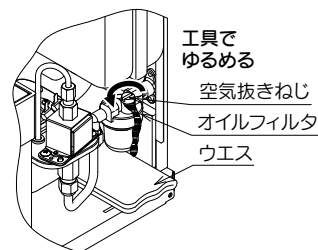
■こぼれた灯油はよくふきとってください。

■燃料切れの注意と空気抜きの方法

- ご使用中、油タンク内の灯油がなくなると、リモコンに「エラー1」が表示され消火します。油タンクを空にしないように早めに給油してください。
- 「エラー1」が表示された場合は、油タンクに給油し、送油経路内の空気抜きしたのち、再び運転操作をしてください。

- 油タンクが空になり給油したときは送油経路内に空気がたまり、正常に送油できなくなることがあります。このような場合には次の手順で空気抜きをしてください。

- ① 油タンクの送油バルブを開き、オイルフィルタの下側にウエスを当てます。
- ② 空気抜きねじをゆるめて灯油が連続して出てきたらねじを締めてください。
- ③ あふれた灯油はきれいにふきとってください。



- 空気抜きねじをはずしますとOリングがねじからはずれ、紛失したり、きずをつけたりして油漏れとなるおそれがありますので、空気抜きのときはゆるめるだけで、はずさないでください。

運転開始前の準備と確認

■温水配管、循環液漏れの確認

- 機器内部や温水配管、床暖パネル接続部などから、循環液漏れがないか確認してください。

■送油経路の油漏れの確認

- 油タンクや送油管の接合部・給油コックなどから油漏れがないかどうか確認してください。

■電気配線の確認

- **△注意** 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。火災の原因になります。
- 電源は必ず適正配線された単相100Vのコンセントを使用してください。
- 電源コードは、途中で接続したり、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしないでください。

■給気口・吹出口の確認

- **△注意** 雪により給気口・吹出口がふさがれると、機器の故障の原因になります。
(該当機種：屋外用 HU-G075F)

■機器の周囲確認

- **△注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。
- **△注意** 機器や吹出口、給排気筒トップを波板などで囲わないでください。不完全燃焼や火災のおそれがあります。

■給排気筒の確認 (該当機種：屋内用 HU-G075FF)

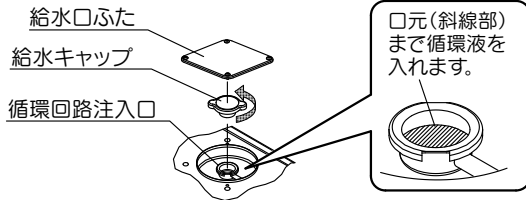
- **△警告** 給排気筒（管・ホース）がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- **△警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

運転開始前の準備と確認

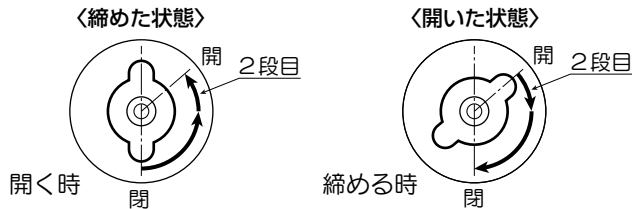
■循環液の水位確認（半密閉システムするとき）

- 循環液には、必ず当社指定の純正不凍液を使用してください。
- 必ず運転開始前の循環液が冷えた状態で確認してください。
運転中や、運転後しばらくは機器が高温・高圧になっているため、やけどのおそれがあります。

循環回路注入口の口元まで、循環液が入っていることを確認してください。

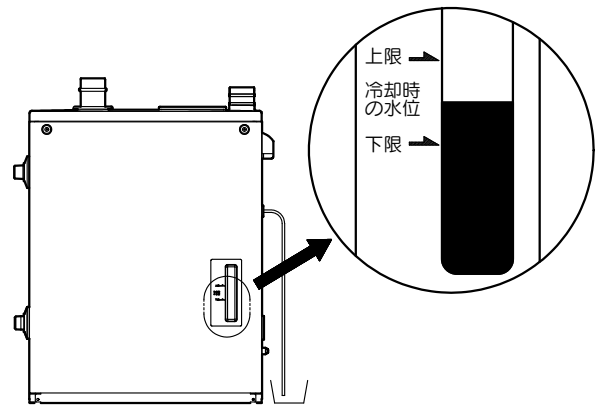


機器上面の給水口ふたをはずし（ねじ4カ所）、給水キャップを反時計方向に回して取りはずします。
※給水キャップは、反時計方向に約130°まわすとはずれます。



- ※給水キャップは2段階になっています。2段目をまわす際は、給水キャップを下に押しながらかまわすとはずしやすいです。
- ※循環液の確認が終わったら、給水キャップ・給水口ふたを元通りに取り付けてください。

循環液水位点検窓の規定水位まで循環液が入っていることを確認してください。



〔循環液は冷却時に「上限～下限」範囲になるようにしてください。「上限」以上入れますと、暖房運転時膨張分があふれ出ることがあります。循環液が温まった状態で膨張していますので、「上限」を超えても異常ではありません。〕

ご注意

- 循環液が蒸発により不足している場合は、専用補充液を補給してください。
(20 ページ「日常の点検・手入れ」にしたがってください)

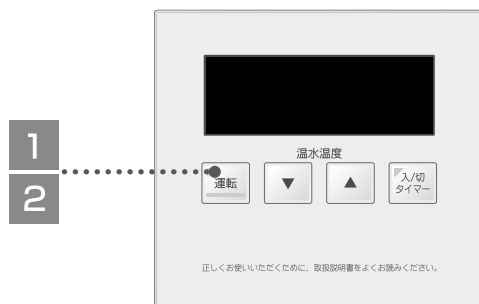
■システムの圧力確認(密閉システムするとき)

〔別売部品(密閉配管セット：UHB-NM4、エア抜き弁セット：UHB-NM5)を使用の場合〕

- 循環液の冷却時に、システムに取り付けてある圧力計が、規定圧(40kPa)であることを確認してください。
規定圧以下の場合は販売店に連絡してください。


使用方法

■通常運転



運転開始

1  を押す。

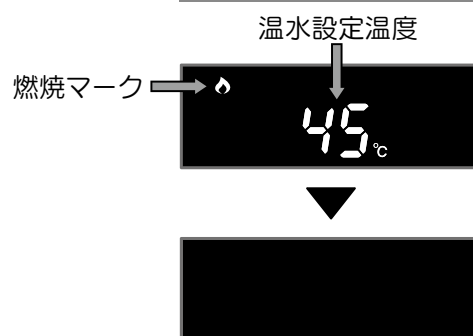
- 運転ランプ(緑)、温水設定温度が点灯し、通常運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まると  (燃焼マーク)が表示されます。

運転停止



2  を押す。

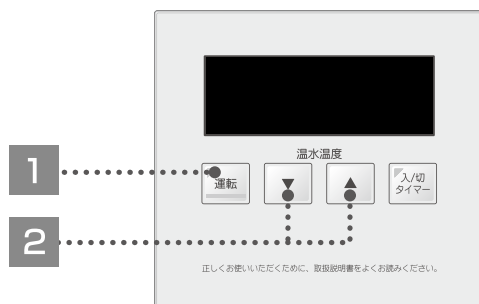
- 運転ランプが消灯し、表示部の表示が消え、通常運転を停止します。

リモコン表示



■温水温度設定 (温度を変更したいとき)

- 温水温度をお好みの温度に設定します。
-   で、30～80℃まで1℃きざみで設定できます。
- お買い上げ時の温水温度の設定は、45℃になっています。



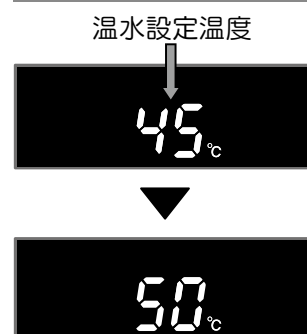
1  を押す。

- 運転ランプ(緑)、温水設定温度が点灯します。

2   を押し温水温度の設定をする。

- 1回押すごとに、1℃ずつ変わります。

リモコン表示



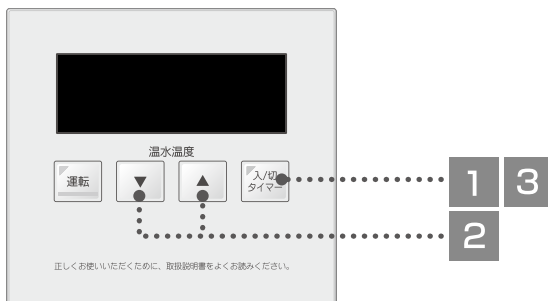
使用方法

■入/切タイマー運転

【入タイマー】：設定した時間が経過すると運転を開始します。お買いあげ時は6時間後に設定されています。

【切タイマー】：設定した時間が経過すると運転を停止します。お買いあげ時は1時間後に設定されています。

【入タイマーの設定】



リモコン表示

【確定前の表示（点滅）】



【設定確定時の表示（点灯）】



【運転開始時の表示】





1 運転「OFF」時に を押す。

- 入/切タイマーランプ(橙)、「入タイマー」「設定時間」表示が点滅します。



2 を押し入タイマー時間を設定する。

- 1時間単位で設定することができます。
(1時間後～24時間後の範囲で設定できます)

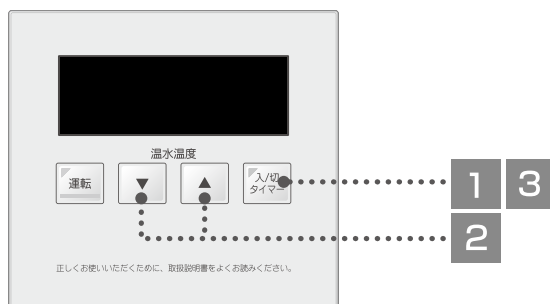
3 を押す。

- 入タイマー設定時間が確定され、運転開始までの時間を表示します。 燃烧マーク 
- 入/切タイマーランプ(橙)、「入タイマー」表示が点滅から点灯になります。
(入/切タイマースイッチを約5秒放置でも表示が点灯になります)
- 設定時間が経過すると運転を開始し、「入/切タイマーランプ」が消灯し「入タイマー」表示が消えます。(温水設定温度表示に替わります)
- バーナの燃焼が始まると  (燃烧マーク)が表示されます。

お知らせ

- 入タイマーセット中に  を押す、または  を押して(「温水設定温度」を表示)運転を開始すると入タイマーを解除し、「入/切タイマーランプ」が消灯し、「入タイマー」表示が消えます。

【切タイマーの設定】



1 運転「ON」時に **入/切タイマー** を押す。

- 入/切タイマーランプ(橙)、「切タイマー」、「設定時間」表示が点滅します。

2 **▼ ▲** を押し、切タイマー時間を設定する。

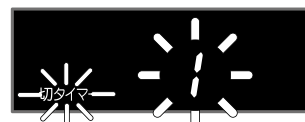
- 1時間単位で設定することができます。
(1時間後～24時間後の範囲で設定できます)

3 **入/切タイマー** を押す。

- 切タイマー設定時間が確定され、約5秒後に温水設定温度表示に替わります。
(入/切タイマースイッチを約5秒放置でも表示が点灯になります)
- 設定時間が経過すると運転を停止し、「入/切タイマーランプ」が消灯し「切タイマー」、「温水設定温度」表示が消えます。

リモコン表示

【確定前の表示(点滅)】



【設定確定後の表示(点灯)】



【切り替り表示】



【運転停止時の表示】



お知らせ

- 切タイマーセット中に **入/切タイマー** を押す、または **運転** を押して(「温水設定温度」表示が消える)運転を停止すると切タイマーを解除し、「入/切タイマーランプ」が消灯し、「切タイマー」表示が消えます。

使用方法

■外部入力運転、E-CON信号運転（放熱器などによる自動運転）

- 放熱器などの外部入力信号、E-CON信号による自動運転ができます。
- 放熱器などの取り扱いはそれぞれの説明書にしたがってください。



自動運転開始

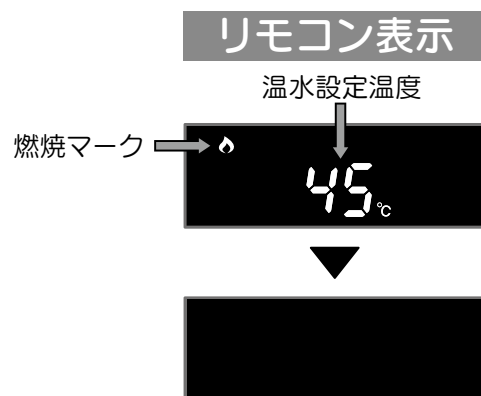
放熱器側で運転操作する。

- 外部入力信号、E-CON信号を検出すると自動運転を開始し、温水設定温度を表示します。
〔運転ランプ(緑)は点灯しません。〕
- バーナの燃焼が始まると🔥(燃焼マーク)が表示されます。


自動運転停止

放熱器側で停止操作する。

- 温水設定温度表示が消え、自動運転を停止します。



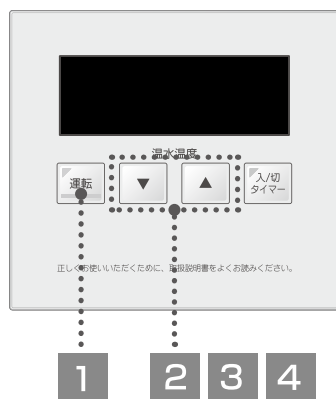
お知らせ

- リモコンの  を3秒以上押し続けると「温水設定温度」表示が消え、自動運転が停止します。
再度自動運転を開始させる場合は、すべての放熱器の運転スイッチを一旦切って再度入れ直してください。











使用方法〈リモコンの便利な機能〉

■操作音設定

- リモコンの操作音あり (on) / なし (oF) の設定ができます。
- お買い上げ時の設定は、操作音あり (on) になっています。



■操作音なし (oF) に設定する場合

- 1**  を「切」にする。
 - 運転ランプが消灯します。
- 2**   を同時に3秒以上長押しする。
 - シンプルリモコン接続時は「11」が点滅します。
 を押すごとに「11」⇔「E」と切り替わります。
 - 増設リモコン接続時は「31」が点滅します。
 を押すごとに「31」⇔「E」と切り替わります。
- 3** 「11」点滅中に  を押す。(シンプルリモコンの場合)
 -  を押すごとに「on」⇔「oF」と切り替わります。
- 4** 「oF」点滅中に  を押して「E」を点滅させ、
 を押すと設定完了です。
 - 「oF」点滅中に  を押さなくても約10秒放置で設定されます。
 - 設定されると表示が消えます。

リモコン表示

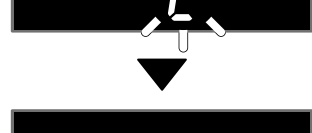
【シンプルリモコンの表示】



【on表示】



【oF表示】



凍結予防(循環液の注入)

凍結予防および腐食防止のため、温水経路内および半密閉タンク内に必ず当社指定の純正不凍液を入れてください。指定以外の循環液による故障は、保証期間内でも保証の対象となりません。

循環液の注意事項

- 当社指定の純正不凍液以外の防錆剤、不凍液（特に車両用など）を使用したり、混合したりしますと防錆効果が発揮されず機器の耐久性がそこなわれたり、釜なり音が発生することがあります。
また、粘性があわずポンプの性能が十分発揮されなかったり、沸騰してしまうことがあります。
- 保管する場合は、表示のある容器に密閉し、幼児の手の届かない所に保管してください。
- 飲用しないように、取り扱いには十分注意してください。万一飲んだ場合には、すぐ吐かせて医師の診断を受けてください。皮膚や衣服に付着した時は、よく洗い流してください。
- 機器に付着した時は、すぐにふきとってください。
- 循環液は、3年を目安に入れ替えてください。（開封した循環液も含まれます）
交換せずに使用した場合、防錆効果および凍結予防効果が低下し、機器に悪影響をおよぼす恐れがあります。
循環液の劣化が原因の機器の故障は、保証期間内でも保証の対象となりません。
- 循環液は、常温では引火しませんが、加熱されたものの上などにかかると引火することがありますので、取り扱いには十分注意してください。

使用上の注意

■やけどに注意

- ⚠注意** 燃焼中や消火直後は、高温部、給排気筒トップ、吹出口、枠上部に手などをふれないでください。やけどのおそれがあります。

■雷が発生したとき

- 雷による一時的な過電圧で電子部品を損傷することがありますので、雷が発生したときは、すみやかに電源プラグをコンセントから抜いてください。

■リモコンについて

- リモコンは子供がいたずらしないように注意してください。
- リモコンに水をかけないでください。故意に水をかけると故障の原因になります。

■油切れに注意

- 油タンクを空にしないように注意してください。

■凍結予防について

- 当社指定の純正不凍液を必ず使用してください。

■循環液の飲用厳禁

- 循環液は幼児の手の届かない場所に、保管してください。
万一、飲んだ場合は吐かせて、医師の診断を受けてください。

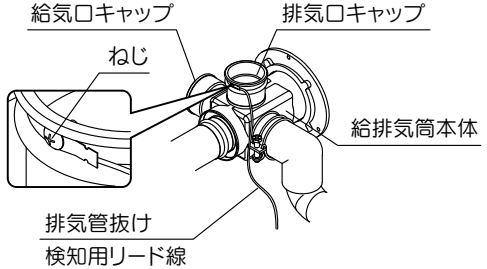
長期間使用しないとき(シーズンオフ)

長期間使用しないときは、次の処置をしてください。

- 油タンクの送油バルブを閉めてください。
- 運転スイッチを「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。
- 半密閉タンクに上限水位まで補充液を補給しておいてください。〔半密閉式システムの時〕
※別売部品の「密閉配管セット」または「エア抜き弁セット」を使用の場合は循環液の蒸発はありません。
〔密閉式システムの時〕

5 安全装置

安全装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
対震自動消火装置	地震（震度約 5 以上）や強い振動、衝撃を受けたとき作動 ▼ 運転停止	●地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから再び運転操作をしてください。
点火安全装置 ・ 燃焼制御装置	燃焼が完全に開始されないとき、または万一炎が立消えになったときに炎検知器（フレームロッド）が感知して作動 ▼ 運転停止	●油切れのときは給油してください。 ●油切れ以外の場合は運転スイッチを「OFF」にして、お買いあげの販売店に連絡してください。
停電安全装置	停電したときや電源プラグが抜けたときに作動 ▼ 運転停止	●通電後、再び運転操作をしてください。
過熱防止装置	温度調節回路に故障が発生し、熱交換器内の液温が異常に上昇したときに作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。

装置の名称	作動原因と作動結果	処置方法
送風機回転検知	送風機の回転異常があったとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
熱交換器過熱防止装置 ・異常停止サーモ	熱交換器の温度が異常に上昇したとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
電流ヒューズ (15A、6A)	内部配線のショートなどで過電流が流れたときに作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
温度ヒューズ (99℃)	サーミスタや本体基板の故障、空だきなどにより機器内の温度が異常に上昇したとき作動 ▼ 運転停止	●使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。
排気管抜け検知装置 (該当機種：屋内用 HU-G075FF)	●排気管の接続部がはずれたとき ●排気管抜け検知用リード線がはずれたり、断線したとき ●ストッパーリングが正しく取り付けられていないとき ▼ 運転停止	●給排気筒および排気管の接続部に、はずれ、ゆるみがないか確認してください。 ●排気管抜け検知用リード線のゆるみ、またははずれ、切れがないか確認してください。  ●ストッパーリングが正しく取り付けられているか確認してください。 ●お買いあげの販売店に連絡してください。
油切れ検知装置	●油タンクの灯油がなくなったとき ●油タンクの送油バルブが閉じているとき ▼ 運転停止	●油タンクに給油してください。 ●油タンクの送油バルブを開けてください。
油面異常検知装置	●レベラタンク内の油面が上限を超えたとき ▼ 運転停止	●お買いあげの販売店に連絡してください。

7 日常の点検・手入れ

■点検・手入れのときの注意

- リモコンの運転スイッチを「OFF」にして、機器が冷えてからおこなってください。やけどのおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 手袋などの保護具を着用し、金属部に十分注意してください。けがの原因になることがあります。
- 電気部品は絶対に分解しないでください。
- 異常があるときはお買いあげの販売店に連絡してください。

■点検、手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物（日常）

- **⚠️ 注意** 機器の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。火災のおそれがあります。

2. ほこり（日常）

- 機器の上や周囲のほこりは燃焼不良の原因となりますので常に清掃してください。清掃の際は吹出口などの端面で手を切らないように注意してください。
- 電源プラグにほこりがたまっている場合は、除去してください。

3. 油漏れ、油のたまり、油のにじみ（日常）

- 送油経路（特に接合部）の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか点検してください。油漏れのあるときは、使用を中止してお買いあげの販売店に連絡してください。

4. 循環液漏れ（日常）

- 機器内部や温水配管、放熱器接続部などから循環液漏れがないか時々確認してください。

5. アース（日常）

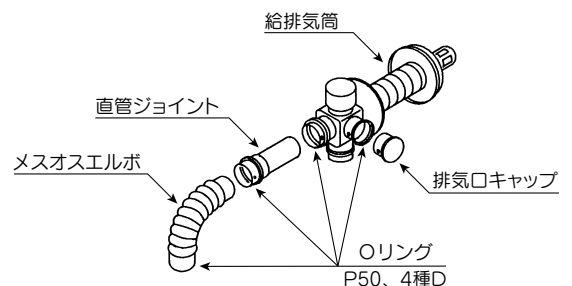
- アース線がアース棒と機器の間で切れていないか、アース棒は十分に地中に埋め込まれているか時々確認してください。不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

6. 吹出口の周囲（日常）〔該当機種：屋外用 HU-G075F〕

- 吹出口付近は囲いなどをしないでください。排ガスが再循環し、故障の原因になります。
- 吹出口に落ち葉などがつまっていないか確認してください。つまっている場合は取り除いてください。

7. 給排気筒の接続部のゆるみおよびトップの周囲（日常）〔該当機種：屋内用 HU-G075FF〕

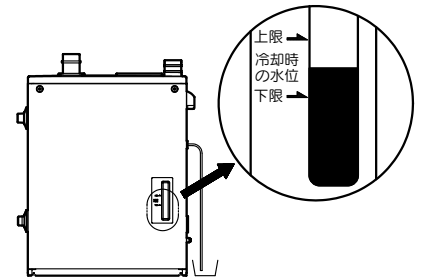
- **⚠️ 警告** 給排気筒（管・ホース）がはずれたままで使用しないでください。はずれていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- **⚠️ 警告** 給排気筒トップの周りが雪でふさがれたままで使用しないでください。ふさがれているときは、除雪してください。閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。
- 給排気筒トップの周囲に燃えやすいものがないか、確認してください。
- 給排気筒を1度取りはずして、再び取り付けるとき、排気管の接続部内部にはめ込んであるOリングが破損していないか確かめてください。破損していた場合は、お買いあげの販売店に交換を依頼してください。
- 給排気筒および排気管接続のはずれ、排気管抜け検知用リード線がはずれまたは、断線していないか点検してください。
- 給排気筒トップに吹雪などで積もった雪は取り払ってください。



日常の点検・手入れ

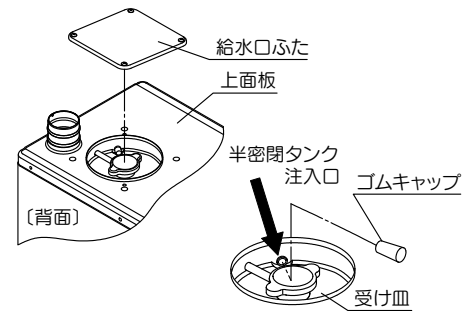
8. 半密閉タンクの水位（1ヶ月に1回以上）〔半密閉システムするとき〕

- 半密閉タンク内の循環液は少しずつ蒸発します。1カ月に1回程度は循環液水位点検窓を確認し、規定水位以下の場合はその都度、専用補充液を補給してください。（機器停止後、循環液が冷えた状態で確認）
- 循環液は、冷却時必ず上限～下限の間に保ってください。



専用補充液の補給方法

- 必ず機器が冷えてからおこなってください。
- ①給水口ふたをはずしてください。（ねじ4カ所）
- ②半密閉タンク注入口に差し込んであるゴムキャップをはずし、受け皿から専用補充液を循環液水位点検窓「上限」まで入れてください。
〔循環液水位点検窓「上限」以上入れますと、運転時半密閉タンクより膨脹分の循環液があふれ出ることがあります。〕
- ③補給が終わりましたら、元通りゴムキャップを半密閉タンク注入口に押し込んで栓をし、受け皿に残った専用補充液、循環液は布きれなどでふきとってください。



- 自然蒸発に対する補給には、循環液は使用しないでください。濃度が高くなり、故障の原因となる場合があります。

9. 油タンク（水抜きを含む）（1ヶ月に1回以上）

- 油タンク内には、空気中の水分が結露して水がたまります。多くたまるとバーナの方へ流れ出て燃焼不良の原因になります。油タンク内に水がたまっていないか確認し、たまっているときは油タンクの水抜きドレン口から水抜きをしてください。

10. オイルフィルタの点検（1年に1回以上）

- オイルフィルタにゴミや水がたまっていないか販売店に点検を依頼してください。

11. ゴム製送油管の点検、交換の目安

- ⚠注意** ゴム製送油管は、屋外で使用しないでください。屋外での使用は禁止されています。
- 屋内でゴム製送油管を使用しているときは、膨潤、収縮、変質、変形、ひび割れがないか確認してください。ひび割れは見ただけでは見つけにくいので手で少し曲げて確認し、ひび割れなどの異常があるときは交換してください。交換の目安は2～3年に1度です。

12. 銅パイプ（送油管）の点検、交換の目安

- 銅パイプ（送油管）は年に1回以上点検し、変形、ひび割れがないか確認し、異常があるときは交換してください。

13. リモコンのお手入れについて

- リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って軽く拭き取ってください。
- リモコンのお手入れには、洗剤およびベンジン、シンナー、みがき粉、ガラスクリーナーなどは使用しないでください。
変色や変形、キズがつく場合があります。

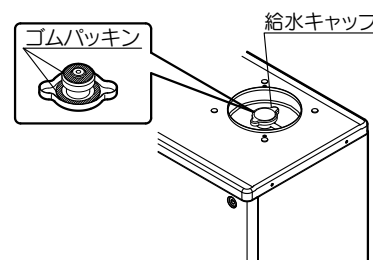
日常の点検・手入れ

14. 給水キャップの点検

- **⚠注意** 運転中や停止直後に給水キャップをはずさないでください。循環液が飛び散ってやけどをするおそれがあります。

シーズン初めには給水キャップをはずし、給水キャップのゴムパッキンが循環回路注入口に貼りついたり、ひび割れしたり劣化していないことを確認してください。ゴムパッキンが貼りついたり、ひび割れしたり劣化しているときは、使用を中止しお買いあげの販売店または、お客様窓口にご連絡いただき給水キャップの交換を依頼してください。

- 密閉配管セット（別売部品）を使用した配管システムとしてご使用のときは、給水キャップの点検は不要です。



15. システム圧力の確認…密閉配管セット（別売部品：UHB-NM4）

エア抜き弁セット（別売部品：UHB-NM5）を使用の場合

- 密閉配管セット、エア抜き弁セットを使用の場合は循環液の蒸発はありませんが、念のため1ヶ月に1回程度は、温水配管システムに取り付けてある圧力計が規定圧力（40kPa）であることを確認してください。規定圧力以下の場合は販売店にご連絡してください。

8 定期点検

■定期点検のおすすめ（有料）

長期間ご使用になりますと、機器の点検が必要です。機器を安心して長くご使用いただくために、1年に1回程度、お買いあげの販売店または、修理資格者〔一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会（TEL03-3499-2928）でおこなう技術管理講習会修了者（石油機器技術管理士）など〕のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

9 設計上の標準使用期間

■本製品の設計上の標準使用期間について

- 本製品の設計上の標準使用期間は、10年と算定しています。
- 点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）により、リモコンの表示部に「88」を表示します。
- 設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件のもとで適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として、製品ごとに設定されるものです。取扱説明書に記載の保証書による保証期間とは異なりますのでご注意ください。

<設計上の標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計上の標準使用期間は、一般社団法人 日本ガス石油機器工業会発行の自主基準石029（石油温水熱源機の標準使用条件、標準加速モードおよび試験条件）に基づき、以下の使用条件を想定し、当社において耐久試験などをおこなった結果算出された数値などに基づき経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を設計上の標準使用期間としています。

<温水ボイラの標準使用条件>

地域	寒冷地	準寒冷地
端末機	温水式パネルヒーター	温水ルームヒーター
季節	冬期	冬期
1日使用時間	17時間40分	10時間40分
1年使用日数	188日	153日
電源電圧/周波数	100V/50Hz、60Hz	100V/50Hz、60Hz

<ご注意ください！>

- 本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでお使いいただいた場合などにおいては、設計上の標準使用期間よりも短時間で製品が経年劣化し、安全上支障を生じるおそれが多くなることが予想されます。この場合は点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）により点検告知時期が設計上の標準使用期間とずれることがあります。
- 製品を目的以外の用途に使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計上の標準使用期間の到来前に経年劣化などによる重大事故発生のおそれが高まる可能性があります。このようなご使用は、お控えいただくようお願い致します。

■本製品の点検に関するお問い合わせは、下記へ連絡ください

- 弊社 お客様窓口
受付時間 : 平日9:00~17:00 (日・祝日・盆・年末年始を除く)
TEL : フリーダイヤル 0120-495-441
ウェブサイト: <https://chofukosan.com/>

<点検料金について>

- 点検料金はおお客様にご負担いただくこととなります。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用が発生いたします。

<補修用性能部品について>

- 補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後、7年です。

■日常の点検・手入れ

- 製品を安全にご利用いただくためには、お客様においても日常的に清掃や安全点検をおこなって頂くようお願いいたします。詳しくは本書の「日常の点検・手入れ (19~21ページ)」の項をご覧ください。
- また、定期的な点検 (任意) を受けられることをおすすめします。詳しくは本書の「定期点検 (21ページ)」の項をご覧ください。

10 故障・異常の見分け方と処置方法

早見表による見分け方

- 万一具合の悪いときは、下記の早見表にもとづいて点検・処置してください。
- 原因のわからないときや処置のむずかしいときは、機器の使用を中止し、お買いあげの販売店または、お客様窓口にご連絡ください。

	現 象	原 因	処 置・説 明
運 転 開 始	運転スイッチを入れても運転ランプが点灯しない。	電源プラグがコンセントから抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込んでください。
		電源の元スイッチ(ブレーカ)が「切」になっている。	電源の元スイッチを「入」にしてください。
		停電している。	通電するまでお待ちください。
	リモコンに【給油】 【エラー 1,11,12,13】 を表示する。	油タンクの送油バルブが閉まっている。	油タンクの送油バルブを開き、再び運転操作をしてください。
		油切れしている。	油タンクに給油し、送油経路内の空気抜き(9ページをお読みください)をしたのち、再び運転操作をしてください。
上記の処置をおこなってもエラー表示が出る場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。			
リモコンに【エラー2】を表示する。	「対震自動消火装置の作動」 地震(震度約5以上)や強い振動、衝撃を受けた。	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから、再び運転操作をしてください。	
すぐに温まらない。	運転開始後、循環液が設定温度になるまで時間がかかることがあります。	入タイマーによる予約運転をおすすめします。	
燃 焼 中	よく温まらない。 (温水が高温にならない)	温水配管に設けたバルブが閉まっている。	バルブを開いてください。
		温水経路がゴミづまり、つぶれなどで循環液が流れない。	販売店に連絡してください。
		半密閉タンク内の循環液が少なくなっている。	20ページの「専用補充液の補給方法」を参照、または販売店に連絡してください。
		温水温度設定のミス(低い)	使用方法の「温水温度設定」をお読みください。
	温水が低温にならない。 温度が高い、熱い。	温水温度設定のミス(高い)	
	温度変更していないのに床面温度が変化。	半密閉タンク内の循環液が少なくなっている。	20ページの「専用補充液の補給方法」を参照、または販売店に連絡してください。
	気水分離器で循環液の流れる音がする。		
	循環ポンプから金属音がする。		
	頻繁に循環液の補給が必要になる。	配管から漏れている。	販売店に連絡してください。
	運転中にゴボゴボ音がする。	配管内に空気が混入している。	
燃焼音が異常。	販売店に連絡してください。		
ススを出して燃えている。	⚠警告 ●このままご使用を続けると大変危険ですので、使用を中止して販売店に連絡してください。		
油漏れしている。	販売店に連絡してください。		
給排気筒がはずれている。 (該当機種：HU-G075FF)			
液漏れしている。			
アース線が切れている。 アースがない。	⚠注意 ●このままご使用を続けると感電のおそれがありますので、使用を中止して販売店に連絡してください。		

モニターサインによる見分け方

- リモコンのエラー表示によって、故障原因を判断することができます。
- 販売店に連絡していただく際は、表示されているエラー表示の数字やアルファベットをお知らせください。

■モニターサインを表示して全停止したとき

表示	原因	処置方法
1	油切れ検知装置作動	油切れの確認をしてから給油してください。 油切れ以外の場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。
2	対震自動消火装置作動	地震などによって作動した場合は、設置場所へ行き周囲の可燃物、機器の損傷、油漏れ、液漏れ、給排気筒のはずれなどの異常がないことを確認してから再び運転操作をしてください。
3	初期循環液不足	使用を中止して販売店に連絡してください。
10	疑似火炎、フレームロッド短絡故障	
11	不着火、フレームロッド断線故障	油切れの確認をしてから給油してください。 油切れ以外の場合は、油タンクの送油バルブを閉め販売店に連絡してください。
12	途中消火、フレームロッド断線故障	
13	途中消火、フレームロッド断線故障	
14	ポットサーミスタ断線、ポットヒータ断線	
15	ポットサーミスタ温度異常 ポットサーミスタ短絡	使用を中止して販売店に連絡してください。
18	本体基板故障	
19	空気サーミスタ断線	
20	空気サーミスタ短絡	
21	油面異常検知装置作動*	
22	循環ポンプ回転異常	
23	送風モータ回転異常	
29	排気管抜け検知装置作動 (屋内用HU-G075FFのみ)	
30	缶体サーミスタ断線	
31	缶体サーミスタ短絡、ハイリミット作動	
32	異常停止サーモ作動	
E1	リモコン通信異常、リモコンコード配線不良	

* プザーが10分ごとに鳴りますので、音を消したい場合は、運転スイッチを1回押してください。

■モニターサインを表示するが運転可能なとき

表示	原因	処置方法
給油	給油検知	油タンク内の灯油が少なくなりました。 早めに給油してください。(別売部品のOC-2取付時)
24	データ未入力	このまま使用を続けると修理ができなくなる場合がありますので、販売店に連絡してください。
88	点検時期お知らせ機能(タイムスタンプ)報知	「■88」表示点検時期お知らせ機能について(⇒25ページ)を参照して点検(有料)をおすすめします。

上記以外のモニターサインが表示した場合は、使用を中止して販売店に連絡してください。



モニターサインによる見分け方

■ 88 表示 点検時期お知らせ機能について

- 本製品には点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）が搭載されています。
- 使用期間が10年（相当）使用経過後（設計上の標準使用期間相当）になったら、表示部に 88 を表示してお知らせします。経年劣化による重大事故を防止するために、点検（有料）をおすすめします。使用状況によっては点検時期お知らせ機能（タイムスタンプ）による点検告知時期が設計上の標準使用期間とずれることがあります。
- 故障ではありませんのでご使用できます。
- 弊社 お客様窓口にご連絡してください。
受付時間 : 平日9:00~17:00 (日・祝日・盆・年末年始を除く)
TEL : フリーダイヤル 0120-495-441
ウェブサイト: <https://chofukosan.com/>

ご注意

- 点検後は3年相当の使用期間ごとに 88 を表示して、点検時期をお知らせします。
安全に製品を使用していただくため、88 を表示した場合は、点検（有料）を受けることをおすすめします。
- 点検を受けていただくまでの間、表示部の 88 を表示しないようにできます。
弊社 お客様窓口にご連絡してから次のように操作してください。

 と温水温度  を同時に3秒以上押すと表示が消灯します。

- 点検を受けずにご使用になった場合、上記操作後、1年相当になると再度 88 を表示します。

次の現象は故障ではありません

■ 試運転時煙が出たり臭いがする

試運転時、機器の燃焼経路に付着した機械油が燃えるため、煙が出たり臭いがすることがありますが、しばらく燃焼すると出なくなります。

■ 運転停止後しばらく送風機の音がる

燃焼室内の排ガスを排出するために送風機が運転します。

■ 給排気筒トップ、吹出口から白煙が出る（冬期）

冬期には排ガス中の水蒸気が水滴に変わるため、給排気筒トップ、吹出口から白煙となって出ることがあります。

■ すぐに温まらない

循環液の温度が設定温度になるまで時間がかかるためです。いつまでも温まらないときは配管内に空気が残っている可能性があります。（販売店にご連絡してください）

■ バーナが点火・消火を繰り返す

循環液の温度を制御しているためです。故障ではありません。

■ 初めて使用する時や油切れの時に、コトコト音がする

電磁ポンプ（給油用）が空打ちする音です。異常ではありません。

■ 使用中にときどきコトコト音がする

電磁ポンプ（送油用・給油用）の運転音です。異常ではありません。

11 部品交換のしかた

部品交換のしかた

- 部品交換は処理がむずかしいので、お買いあげになった販売店に依頼してください。
- 修理を依頼する場合は、一般財団法人 日本石油燃焼機器保守協会(TEL 03-3499-2928)でおこなう技術管理講習会 修了者(石油機器技術管理士)などのいる販売店などに依頼してください。
- 部品交換は **純正部品** と指定してください。

■長期間の使用により消耗・劣化しやすい部品（交換が必要な部品）

- 定期的に交換が必要な部品は次のとおりです。

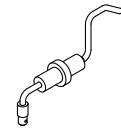
炎検知器（フレイムロッド）

- フレイムロッドが消耗してきた場合、エラーを表示し運転を停止します。
(エラー表示：11・12・13)



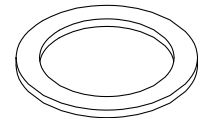
点火プラグ

- プラグの先端部が消耗したり、ススで汚れたりすると点火不良をおこします。



パッキン類

- パッキン類（バーナ部）が劣化しますと、燃焼ガスが漏れたり、燃焼不良の原因になります。
(メンテナンス時分解した場合は必ず交換が必要です)



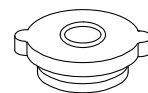
Oリング（排気筒接続部 P50 4種D）（該当機種：屋内用 HU-G075FF）

- 長期の使用により劣化しますと排気漏れの原因になります。



給水キャップ

- 長期の使用により、ゴムパッキン部が劣化します。



■環境により劣化しやすい部品

- ゴム製送油管

■変質灯油・不純灯油の使用により劣化しやすい部品

- オイルフィルタ
- 電磁ポンプ（送油用・給油用）

12 仕 様

型 式 の 呼 び		HU-G075F	HU-G075FF
温 水 配 管 シ ス テ ム		半密閉式温水配管システム	
配 管 口 方 向		左	左/後 両出し
種 類	燃 焼 方 式	気化式	
	給 排 気 方 式	屋外用開放形	屋内用密閉式強制給排気形
	用 途 別 方 式	暖房用	
	給 水 方 式	タンク式	
	加 熱 方 式	1缶1水路式	
点 火 方 式		高電圧放電式	
使 用 燃 料		灯油 (JIS1号灯油)	
燃 料 消 費 量		9.06kW (0.88L/h)	
暖 房 効 率		82.0%	
暖 房 出 力		7.43kW	
熱 交 換 器 容 量		4.7L	
使用圧力 (最高使用圧力)		0.1MPa	
伝 熱 面 積		0.38m ²	
外 形 寸 法		680mm×470mm×285mm (高さ) (幅) (奥行)	590mm×470mm×285mm (高さ) (幅) (奥行)
質 量		27kg	24kg
電源電圧および周波数		100V 50/60Hz	
定格消費電力	点火時	530W	
	燃焼時	55W	
待 機 時 消 費 電 力		1.0W	
給排気筒の型式の呼び		—	QU49-2-1
給排気筒の呼び径		—	D49
給排気筒の壁貫通部の孔径		—	φ85mm
排 気 温 度		260℃以下	
騒 音 レ ベ ル		35dB	31dB (室内側)
循 環 管 取 付 口 径		R3/4 (20Aオネジ)	
電 流 ヒ ュ ー ズ		15A、6A	
温 度 ヒ ュ ー ズ		99℃	
安 全 装 置		・対震自動消火装置 ・点火安全装置 ・燃焼制御装置 ・停電安全装置 ・過熱防止装置	
そ の 他 の 装 置		・送風機回転検知 ・熱交換器過熱防止装置 ・電流ヒューズ ・温度ヒューズ ・排気管抜け検知装置 (HU-G075FF) ・油切れ検知装置 ・油面異常検知装置	
付 属 品	ボイラ と同梱	・取扱説明書 ・工事説明書 ・エルボ (スリーブ・袋ナット付)	
	別梱包	・シンプルリモコン ・リモコンコード (8m)	・ゴム製送油管 (長さ2.5m) ・ホースバンド ・送油ホース接続パイプ (袋ナット付) ・給排気筒セット ・シンプルリモコン ・リモコンコード (8m)

13 アフターサービス

保証について

- この取扱説明書の最後に保証書がついています。
保証書は、必ず「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買いあげ日から2年間です。
- 次のような原因による故障、および事故につきましては、保証の対象になりませんので注意してください。（詳しくは保証書をお読みください）
 - 変質灯油や不純灯油など、または灯油以外の燃料使用による故障や事故。
 - 誤った使用方法による故障や事故。
 - 一般家庭以外（例えば、業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - 凍結による事故および破損。

修理を依頼されるとき

- 「故障・異常の見分け方と処置方法」にしたがってお調べください。直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店、またはお客様窓口にご連絡してください。
- ご連絡いただきたい内容は次のとおりです。
 - ①品名
 - ②型式の呼び
 - ③設置場所（屋内・屋外）
給排気方式（屋外用開放形・屋内用密閉式強制給排気形）
 - ④お買いあげ日
 - ⑤故障の状況（できるだけ具体的に）
 - ⑥ご住所・お名前・電話番号
- 修理に際しましては、保証書を提示してください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店、またはお客様窓口にお問い合わせください。
- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

■保有期間が過ぎているときは

- お買いあげの販売店、またはお客様窓口にご相談ください。修理によって使用できる場合には、お客様のご希望により有料修理させていただきます。

■補修用性能部品について

- この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打ち切り後7年です。

14 据付け

据付け工事は販売店に依頼する

据え付けや移動工事は販売店または据付業者に依頼し、お客様ご自身ではおこなわないでください。

据付け場所の選定および標準据付け例

据え付けについては、火災予防条例、電気設備に関する技術基準など法令の基準があります。工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり販売店または据付業者とよくご相談してください。また、「標準据付例」については工事説明書を参照してください。

騒音防止について

設置場所の選び方次第で騒音は大きく変わります。騒音公害とならないよう十分配慮して設置場所を選択してください。

据付け後の確認

据え付けが終わりましたら、もう一度、工事説明書の「特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）」をお読みになり、工事説明書に記載されているとおり据え付けられているかどうかを確認してください。

試運転

試運転はお買いあげの販売店または据付業者とご一緒に必ずおこなってください。

運転準備 (9ページもお読みください)



準備内容(確認事項)	チェック
1. 給油および送油経路の空気抜きをしておりますか。	
2. 送油管の接合部から油漏れはありませんか。	
3. 温水経路(機器・床暖パネルなど)に循環液が入っていますか。	
4. 機器や配管から液漏れはありませんか。	
5. リモコンは確実に接続されていますか。	
6. 電源プラグはコンセントに差し込まれていますか。	
7. 半密閉タンクの循環液水位点検窓の上限水位まで循環液が入っていますか。	

試運転

運 転

(11～15ページもお読みください)

■運転開始手順


-  を押す。(運転ランプ(緑)点灯)
- 温水設定温度が点灯し、運転を開始します。
- バーナの燃焼が始まるとリモコンに  (燃焼マーク) を表示します。

- 送油経路内の空気が抜けるまで、電磁ポンプの振動音がしますが、異常ではありません。
- 初めて運転するときは、空気抜きをしても機器内のレベラタンクに灯油が溜まるまでに「エラー1(油切れ検知装置作動)」が表示される場合があります。「エラー1」が表示された場合は、油タンクに灯油があることを確認してから運転スイッチを都度押し直してください。なお、「エラー1」が解除できなくなった場合は、本体基板上のリセットスイッチを押して解除してください。
- 試運転終了後、今一度設置場所にいき送油経路(特に接合部)の油漏れがないか、また機器の下に灯油のたまり、にじみがないか確認してください。

■初期運転時の異常現象

- 循環液に溶けていた空気や配管内の空気が気水分離器にたまり、循環液の流れる音が聞こえてくる場合があります。2～3時間試運転後、必ず一旦停止して循環液が冷えた後、20ページの「半密閉タンクの水位」の項にしたがい循環液を補給してください。

■正常運転の目安

- 熱交換器内の循環液温度によって自動運転し、バーナが燃焼しているときは、リモコンに  (燃焼マーク) が表示すること。
- 給排気筒(HU-G075FF)、吹出口(HU-G075F)からススや煙が出ていないこと。
- 機器内部から異常な音がしていないこと。
- しばらくして暖房システムが温まること。

運転停止

-  を押す。
- 運転ランプが消灯し、温水設定温度、 (燃焼マーク) 表示が消え、運転を停止します。



お客様窓口

修理サービスや製品についてのご相談は型式名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記の窓口にご依頼ください

電話番号は変更する場合がありますのでご了承ください。

受付時間:平日9:00～17:00(日・祝・盆・年末年始を除く)

TEL   **0120-495-441**

長府工産株式会社

〒752-0977

山口県下関市長府東侍町1-5

TEL(083)245-5441

ウェブサイト <https://chofukosan.com/>

油だき温水ボイラ保証書

型式	油だき温水ボイラ HU-G075F HU-G075FF	
★ お 客 様	お名前 様	
	ご住所 〒 (-) 電話 () -	

- 本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです
- お買いあげ日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただくことがございますので、ご了承ください。
- ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上
(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、
本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日	年 月 日
保証対象部分	本 体
保証期間 (お買いあげ日より)	① 熱交換器は5年 ② ①を除く電装品・バーナーは2年

★ 販 売 店	住所・店名
	電話 () -

★印欄に記入のない場合は、無効となりますから、必ず記入の有無をご確認ください。
 ≪無料修理規定≫をよくお読みください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。
 なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、お客様窓口にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも保証の対象外となります。
 (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
 (ロ) お買いあげ後の取付け場所の移動、輸送、落下などによる故障および損傷
 (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧、異常水圧、異常水質(温泉水など)、指定外の使用電源(電圧、周波数)および燃料、給水の供給事情による故障および損傷
 (ニ) 指定外の燃料、不純燃料の使用による故障および損傷
 (ホ) 一般家庭用以外(例えば、業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷
 (ヘ) 水垢もしくは凍結による故障および損傷
 (ト) 当社製品の純正部品を使用しなかった場合の故障および損傷
 (チ) 当社または、当社指定の取扱販売店以外で点検、修理した場合の故障および損傷
 (リ) 据付け工事の不備による故障および損傷
 (ヌ) 本書の提示がない場合
 (ル) 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 (ヲ) 点検整備、および消耗品(ゴム製送油管、Oリング、各種パッキン類)の交換をされる場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
 したがって、この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店または、お客様窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後7年です。

長府工産株式会社

〒752-0977山口県下関市長府東侍町1-5
 TEL (083) 245-5441